

平成 23 年 4 月 27 日

電通と中国教育部

第三次「電通・中国広告人材育成基金プロジェクト」の調印式を実施

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直）は、4月27日、北京市において、中国教育部（日本の文部科学省に相当）と第三次「電通・中国広告人材育成基金プロジェクト」（2011年～2014年）の調印式を行いました。

「電通・中国広告人材育成基金プロジェクト」は、当社が中国の広告教育と人材育成を支援する目的で2005年に中国教育部と共同で創設したものです。この基金プロジェクトは、中国側からの広告人材育成への協力要請を受けて当社が1996年に発足させ、2004年まで実施した「日中広告教育交流プロジェクト」を発展させたものであります。当社はこの間、中国を代表する6つの大学を対象に、広告講座、セミナーの実施、助教授クラスの先生方の研修員としての電通本社への招聘など、さまざまな形で支援事業を展開いたしました。電通本社に招聘した広告教員は90名、学生広告講座を受講した学生は延べ4,000名以上、広告コミュニケーションの最新理論や実践経験の伝授を通じて、中国における広告教育のレベルアップに大きく貢献いたしました。

2005年からは基金プロジェクトという新たなスキームのもと、対象となる大学を中国全土へと広げ、300以上の大学を対象に、研修員の招聘やセミナー開催のほか、委託研究、広告教材の出版など新しいプログラムも加えて実施してまいりました。

第一次「電通・中国広告人材育成基金プロジェクト」（2005年～2008年）と第二次「電通・中国広告人材育成基金プロジェクト」（2008年～2011年）では、電通本社に招聘した広告教員は33大学から36名、中国で開催する人材育成セミナーは計5回実施し、延べ900大学、約2,000名の広告教員が参加、学生広告講座を2回実施して、20大学、約900名の学生が受講いたしました。そして第三次「電通・中国広告人材育成基金プロジェクト」（2011年～2014年）では、従来通り中国の大学を対象にさまざまな支援プログラムを推進する一方、当社による一方的な伝授ではなく、日中の相互学習というコラボレーションの実現を新たな目標に掲げています。

以上